

# JCDかわら版

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

## JCDとプラットフォーム

(一社)日本コンクリート診断士会 副会長 小野 定  
新年あけましておめでとうございます。

昨年10月に、阪神(大阪・兵庫)コンクリート診断士会が設立されました。JCDの入会は、まだですが、これは、診断士会にとって画期的なことと思われます。その理由は、阪神(大阪・兵庫)コンクリート診断士会が設立したことで、コンクリート診断士会が日本を縦断する会になったためです。札幌～青森～仙台～宇都宮・水戸～大宮～東京・千葉～横浜～静岡～名古屋・津～岐阜～米原～京都～大阪～神戸～岡山～広島～福岡～熊本、福岡～大分～宮崎、大宮～前橋～長野・甲府～富山～金沢～福井～京都、新潟、鳥取、島根、高知。北海道、本州、四国、および九州を結ぶラインが通ったことで、全国をカバーするネットワークの骨格が出来上がったことになります。同会のJCDの入会は、今年の総会で審議されるとのことです。ぜひ入会されることを期待しています。

よく出る質問に「JCDに参加するメリットは?」があります。私の回答の一つは、コンクリート診断士のプラットフォームを活用できることと考えています。プラットフォームの意味には幾つかあります。周辺よりも高くなった水平で平らな場所。コンピュータにおいて、ソフトウェアが動作するための土台(基盤)として機能する部分のこと。また、自動車の異なるモデルで共通して使われる車台を中心とした基本的な構造のこと。

JCDは、様々な分野で活動されている方々・法人、専門分野のスペシャリストの集まりです。会員の経験、知識、技術、ノウハウ等が集約された場所がJCDのプラットフォームと考えています。ホームページ、技術セミナー、講習会、交流会等を通して情報収集、展開、提供、さらに資質の向上、技術力向上の場としてプラットフォームを活用して下さい。会員の皆様のご支援なくしては、会員の皆様が有効活用できるプラットフォームを構築することはできません。ご支援の程、宜しくお願い致します。

JCDをバックボーンに、今後とも益々会員の皆様が活躍されることを祈念しています。

## 活動近況

2017.10.31  
部会長会議開催

2017.11.17  
第1回保有技術発表会in名古屋  
第5回業務体験発表会in名古屋

2017.11.18  
東海・東京診断士会現場見学会  
(名古屋近郊)

2017.12.12  
幹事会開催

2018.3.13  
コンクリートサスティナビリティシン  
ポジウムIV(東京)

詳しくはHPをご覧ください  
<http://www.jcd-net.or.jp/>

# 地区診断士会の紹介



## 福井県コンクリート診断士会

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

福井の年明けは、いかにも冬らしい天気となりました(といっても、この原稿を書いているのが12月初旬ですので、これは私の勝手な推測です...)。これからが冬本番。北陸では、まだまだ厳しい冬が続きます。

福井の冬といえば、越前ガニ。11月6日の漁の解禁以降、活きの良いカニが毎日、大量に水揚げされています。この越前ガニには黄色いタグが付けられ、そのブランド化が図られています。また平成27年からは、越前ガニのなかでも、重さや大きさ、爪の幅などの厳しい基準を上回ったカニを最上級の新ブランド「極(きわみ)」として売り出しており、これを求めて県外からも多くの方がお越しになられています。皆さんも、是非一度、この「極(きわみ)」を食べに福井までお越しくださいネ。お店の“入口まで”でしたら、喜んでご案内をさせていただきます(さすがに、私は一杯数十万円のカニは食べられません...)。

我われ、福井県コンクリート診断士会は今年、設立15年目を迎えます。平成16年の設立以降、会員も順調に増え、コンクリート診断士の資格を有する正会員は133名となりました。組織率(加入率)も83%となり、福井県内の多くのコンクリート診断士の方にご参画を頂いております。特に、自治体関係の多くの方々にご入会を頂いているのが本会の大きな特色です。

我われが取り組む活動は、主に、「コンクリート診断士としての資質を高める研鑽事業」と「地元自治体や地元教育機関との協働事業や自治体に対する技術支援」の二つです。

研鑽事業では、現場見学会や講演会など、これまで数多くの研修会を開催し、昨年度はナント！1年で10回の開催を行いました。本年度も、既に7回の研修会を終え、コンクリート診断士としての資質を高めることはもちろん、コンクリート診断士同士が顔と顔を合わせる場を数多く提供することで、コンクリート診断士間のネットワークを育んでいます。

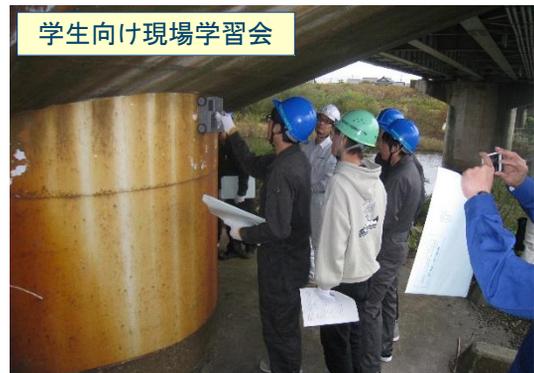
また、地元自治体や地元教育機関との協働事業や技術支援は本会の大きな特長であり、自治体職員向けの講習会の開催や意見交換、技術的な助言などの技術支援を積極的に行うことで、自治体との信頼関係を築いています。昨年度には、福井県内の自治体を所轄する福井県道路メンテナンス会議と「道路施設の点検・診断等の支援に関する協定書」を締結し、道路メンテナンス会議をはじめとする自治体との連携や交流をより強化しています。あわせて、教育機関との交流も進めており、「地元の大学生や高専の学生らを対象とした現場学習会」の開催を通じて、地元の学生らにインフラメンテナンスの取り組みの状況やインフラメンテナンスの理念や重要性などの理解を深めてもらっています。

さらに、北陸三県(福井・石川・富山)のコンクリート診断士会の交流も進めており、今後、JCI中部支部の調査研究事業として「北陸三県のコンクリート診断士会との協働による早期劣化コンクリート構造物の診断と対策のための人材育成事業」に取り組むことが決まりました。

これからも、地域に密着した活動を通じて、地域のインフラメンテナンスに貢献し、コンクリート診断士の社会的地位の向上に努めます。

そして、我々はコンクリート診断士の「極(きわみ)」を目指します...!

(福井県コンクリート診断士会 会長 石川 裕夏)



学生向け現場学習会



協定書の調印式

道路施設の点検・診断等の  
支援に関する調印式

# 地区診断士会の紹介

## 人口が最も少ない 鳥取県です 【鳥取県コンクリート 診断士会】



平成28年度には、鳥取県全体の人口が57万人を割り込んでしまいました。鳥取県からの人口の流出が止まりません。地方からの都市部への人口流出は日本全体の問題でもありますが、唯一、沖縄県は地方でありながら人口が増加しています。

少子高齢化の大きな流れの中で、コンパクトで効率的な都市作りと社会資本の長寿命化を国が求めています。これを進めていくためには「人材」が必要となります。しかしながら、鳥取県は主要な地場産業が少なく、職を求めて若者が賃金体系の優位な都市部へと転出してゆきます。特に建設系の地方大学からの人材は、大手企業の草刈り場となっており、地元で職に就く割合は、年々減少しています。

これらを受けて、鳥取県では若者の定住化対策（担い手の確保）を実施しており、多方面から鳥取県の魅力を発信して、若者の定住化につなげる活動を実施しています。そのため、「鳥取県コンクリート診断士会」の活動も、若者の定住化につなげる活動に多くの時間を使うようになっております。

H29の活動方針を「活用して下さい」から「皆で何かをしよう」と決め、私達「鳥取県コンクリート診断士会」が出来る活動として、本年度から県内の建設系の工業高校生を対象に「社会資本維持の必要性を解って頂く出前講座」、 「橋梁調査の現場体験」を実施しております。

社会資本維持の必要性を解って頂く出前講座



橋梁調査の現場体験



# JCD部会活動紹介

## 技術部会活動報告

### ◆第1回保有技術発表会および第5回業務体験発表会

日時:平成29年11月17日(金) 10:30-16:30 (愛知県産業労働センター)

第5回業務体験発表会は2回目の地方開催、東海診断士会のお骨折りで名古屋での開催となりました。また、保有技術発表会は「会員各社の保有技術を大いに宣伝してもらおう」という奥村智洋技術部会長の発案によって、今回初めて実現したもので、4社からの発表がありました。それぞれの発表は今後益々活用していくべき、すばらしい技術でした。各地区診断士会でも発表して頂けたらと思います。

午後からは、各地区診断士会から10件の発表が20分づつで行われました。グラウト充填不良によるPC鋼材破断可能性の調査、塩害で劣化したPC橋の補修対策、97年経過した構造物のコンクリート強度推定手法、PCボックスカルバートの巨視的ひび割れの原因とDEF、歴史的建造物のセメント硬化体化学分析、ローモンタイトによる変状対策事例、平和公園モニュメント「平和の灯」の補修工事、古い床版橋の修繕工事、打診法、赤外線による建物外壁の浮き調査、石橋補修工事が発表されました。コンクリート診断士は多くの劣化事例を体験することによって技術力が増すと改めて思いました。

### ◆現場見学会

発表会の翌日、同じく、東海診断士会のお世話で現場見学会が開催されました。新名神高速道路鈴鹿高架橋工事、長良川河口堰、船頭平閘門を見学させてもらいました。いずれも、このような機会でないと思えないものばかりで、大変貴重な有意義な時間を過ごすことが出来ました。

### ◆発表会および現場見学会に参加して

どの発表会でも、コンクリート構造物の劣化とその補修のことがいつも話題になりますが、コンクリート構造物の劣化のほとんどはかぶりからの空気や水(塩分を含む場合もある)のコンクリート内への浸透によって、各種劣化が生じていると思われまます。水和反応によって生成される水酸化カルシウムと二酸化炭素が反応して中性化が生じたり、塩分の浸透で不働態被膜が破壊され鉄筋が酸素と反応して腐食が生じたり(塩害)、水分の浸透で凍害が生じます。かぶりコンクリートが、ポーラス(多孔質)であれば、空気や水が浸透しやすくなります。かぶりコンクリートを密実にすれば、耐久性を著しく増大できます。

そのためには、水セメント比50%以下のコンクリートで、コンクリート打設後、12時間程度から湿潤養生(水撒き)を2週間程度行えば、100年はメンテナンスフリーで、カビ・コケが生じないきれいな構造物を作ることが出来ます。右上の写真は昭和60年(1985年)建設した我が家です。水セメント比48%、高性能AE減水剤、海砂使用、湿潤養生をコンクリート打設後1日経過後から10日程度行い、吹付タイルで表面化粧したもので、現在32年経過しているが、カビ・コケによる汚れも少なく、ひび割れや鉄筋の腐食もほとんどなく、美しい状態が保たれています。



32年経過RC建物

(JCD技術部会副会長 米倉 亜州夫)

# 診断士関連記事紹介

## コンクリート工学・日経コンストラクション・土木学会誌等に掲載された記事の紹介です

※H29.10よりH29.12までをピックアップしています



### 【コンクリート工学】

巻・号	タイトル
Vol.55, No.10	東名高速道路で初となる鋼橋のリニューアル事業の設計と施工—用宗高架橋(下り線)の床版取替え工事—
	講座 コンクリート分野で活用する電気化学的手法の基礎 (1) 電気化学の基礎とコンクリートの物性評価
	セメント系材料の硫酸塩劣化に関する数値解析的アプローチの研究動向
Vol.55, No.11	講座 コンクリート分野で活用する電気化学的手法の基礎 (2) 鋼材腐食評価の難しさ
	連続繊維シートを用いた鉄筋コンクリート部材の補修・補強に関する海外の研究事例
Vol.55, No.12	性能規定に基づくASR制御型設計・維持管理シナリオ
	講座 コンクリート分野で活用する電気化学的手法の基礎 (3) コンクリート構造物の電気防食工法

### 【日経コンストラクション】

巻・号	タイトル
2017. 10. 09	橋面防水の施工後5年、ポットホールはなぜ発生？
2017. 11. 13	点検はしたけれど
2017. 12. 11	危険な劣化橋を2年以上供用
	数キロ離れた橋梁の健全度を遠隔監視 古い橋の舗装打ち変え 防水工事をどうする？
2017. 12. 25	下水道の点検実施率は1割、先送り傾向目立つ
	橋の高欄を自走する点検ロボットカメラ

### 【土木学会, 土木学会論文集】

出展	巻・号	タイトル
土木学会誌	Vol. 102, No. 10	分野横断インフラ維持管理技術の開発とその社会実装—戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
		国土交通省におけるインフラ維持管理に関する技術開発
		インフラ維持管理の将来像—点検・モニタリング・診断技術のイノベーション—
		インフラ維持管理、長寿命化のための材料技術の開発
		インフラ維持管理におけるICTの利活用
		インフラ維持管理のためのロボット技術
		データ同化による余寿命予測とインフラマネジメントサイクルの展開
Vol. 102, No. 11	2017インフラ健康診断書(試行版)を公表しました	
土木技術資料	Vol. 59, No. 10	3次元計測による舗装工事の出来形管理手法の検討
		あと施工アンカーの力学的挙動に関する基礎的考察
		地震時のダメージコントロールを目的とした鋼橋桁端部の挙動の評価
土木学会論文集E2	Vol. 73, No. 3	SFRCP舗装を用いた鋼床版疲労対策技術の耐久性の追跡調査
		沖縄県の海岸線に11年間暴露したフライアッシュコンクリートの耐久性に関する研究
	Vol. 73, No. 4	化学的作用に伴うセメント硬化体中の鉱物の変質と物質移動特性
		連続繊維ロープを用いた既設鉄筋コンクリート橋脚の耐震補強法に関する実験的研究
Vol. 73, No. 4	鋼製シーロスの腐食によるPCのひび割れ発生性状に関する一考察	
	主桁間隔の狭いPCI形桁に適用する外ケーブル補強工法定着部の耐荷性能に関する検討	

### 【その他】

セメント コンクリート	No. 848	コンクリート床版上面補修・補強工法「PCM舗装」の開発と施工報告
	No. 849	AE法およびAEトモグラフィにより推定された実橋梁 RC 床版の損傷検証
	No. 850	コンクリート鉄道構造物の凍害とその影響因子
コンクリート工学論 文集	Vol. 28, 2017	コンクリート構造物の炭酸化進行における雨掛り等の環境条件の影響とその進行メカニズムの検討

# 新技術等の紹介

## 伸縮装置及び床版防水の一体化工法 ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法

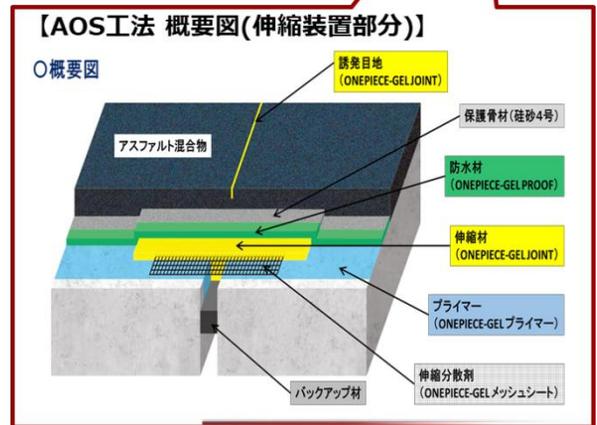
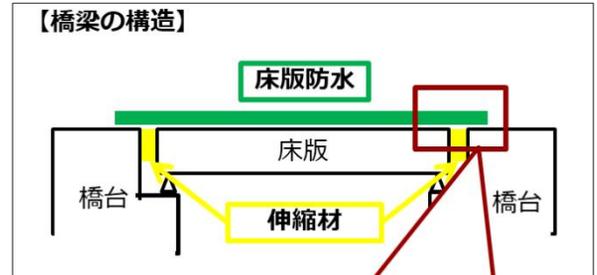
NETIS登録番号 CB-170021-A

福美建設株式会社

### 小規模橋梁に適した新工法

「伸縮装置及び床版防水の一体化工法 ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法(以下、AOS工法)」は、桁長20メートル以下(寒冷地は16メートル以下)のPC橋・RC橋を対象にする新工法です。  
平成29年2月の工法発表から既に6工事での施工実績(平成29年11月末時点)があり、平成29年9月にNETIS登録されました。現在30橋以上の橋梁でお問合せやお見積りのご依頼をいただいております。

NETIS 新技術情報提供システム New Technology Information System		登録No. CB-170021-A	
登録名称	伸縮装置及び床版防水の一体化工法 (ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法)	登録申請者	福美建設株式会社
登録種別	新技術	登録種別	新技術
登録内容	伸縮装置及び床版防水の一体化工法 (ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法)	登録内容	伸縮装置及び床版防水の一体化工法 (ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法)
特許・実用新案	特許 あり	特許・実用新案	特許 あり
特許番号	特許第5005842号	特許番号	特許第5005842号
特許詳細	特許詳細	特許詳細	特許詳細



### 工法の特徴(弱点減少・価格優位)

AOS工法は、遊間部に充填することで伸縮装置を形成する伸縮材と床版上に塗布することで床版防水層を形成する防水材に同系の常温ウレタンゴムアスファルト乳剤を使用することで床版上部の防水層を「一体化」することを特徴としています。  
伸縮装置設置工と床版防水工を個々に実施する従来工法と比較して、一体化して施工することで工程の短縮(50%減少※)や経済性の向上(15.24%減少※)を実現しています。

またアンカーの打設や鉄筋溶接などの工程が不要で熟練工でなくても安全に施工でき、防水性の弱点となる伸縮装置と舗装や床版防水との継ぎ目がなくなることで、橋梁の劣化を更に抑制します。  
※NETIS登録条件の場合

### 小規模橋梁工事の本格化に向けて

AOS工法は、今後の小規模橋梁補修工事の増加を考えて、工法協会の設立や施工店の指定制度を設けず、地元の建設工事会社で工事施工していただくことでメンテナンス産業の活性化や担い手育成に繋げていきたいと考えています。  
全国対応しておりますので、診断士会の皆さまにもご興味をお持ちいただき地元の工事で適用可能な橋梁がございましたら是非ご相談いただけますと幸いです。

### お問い合わせ

福美建設株式会社 開発営業部  
TEL 0120-088-293 (担当：永田)  
メール：archist@fukumiconst.jp

# 新技術等の紹介



## RFID構造物診断技術 WIMO®シリーズ

～ 構造物診断をもっと身近に、もっと簡単に ～

Wimo®シリーズは、「誰でも」、「簡単に」、「非破壊で」、「定量的に」をキーワードに、構造物の健全度を把握する技術として開発されました。

WimoおよびWimoロゴは、太平洋セメント株式会社の登録商標です。

### コンクリート構造物内の状態を知りたいはありますか??

内部の鉄筋が腐食  
していないか?確認  
したい



鉄筋やコンクリート  
の“ひずみ”が知り  
たい



#### RFID腐食環境検知システム

コンクリート構造物内における鉄筋近傍の腐食環境を構造物表面から与える無線電波で計測するシステムです。

#### RFIDひずみ計測システム

構造物内の鉄筋やコンクリートに生じるひずみを構造物表面から与える無線電波で計測するシステムです。



RFID腐食環境検知センサ(左)と計測機器(右)



RFIDひずみセンサ各種(左)と計測機器(右)

### 両システム共通の特長

内部に埋設  
ケーブルレス

無線で電源供給  
電池レス  
電源交換不要

非破壊で

簡単に

お問い合わせ、御用命はお気軽に!!

# JCD・地区診断士会からのニュース

## ○福井県コンクリート診断士会

- ・平成29年9月27・28日  
フクイ建設技術フェア2017にブースを出展しました
- ・平成29年11月7日  
「美浜大橋耐震補強工事 現場見学会」を開催しました
- ・平成29年11月30日  
「土木インフラセミナー コンクリート構造物維持管理編(主催:新建新聞社)」に講師を派遣しました
- ・平成29年12月12日  
「賛助人による最新技術発表会 第2弾! ほか」を開催しました  
本年度は、すでに7回の研修会を終了しました。

年明け1月には、福井県道路メンテナンス会議と協働で、学生を対象とした現場学習会を開催。

また、平成30年2月26日(月)には、毎年恒例のオープンセミナー(講師:国交省福井河川国道事務所 事務所長 中村 圭吾 氏, 近未来コンクリート研究会 代表 十河 茂幸 氏, 一般参加可)を開催します!

## ○鳥取県コンクリート診断士会

9月16日(土):鳥取県・島根県コンクリート診断士会合同研修会, 9月20日(水)「現場で役立つやさしい構造力学」講師派遣, 9月22日(金)橋梁下部工新設現場見学, 10月19日(木)鳥取工業高等学校座学「社会資本維持管理の現状について」講師派遣, 10月20日(金)座学「トンネル点検と補修技術」「鋼橋の維持管理」開催, 10月27日(金)米子工業高等学校生徒 橋梁詳細調査現場見学, 11月14日(火)倉吉農業高等学校座学「社会資本維持管理の現状について」講師派遣 を実施しました。

現在(12月1日状況)は、本年度の活動を振り返り鳥取県への要望事項, 来年度の活動計画を企画中です。

## ○島根県コンクリート診断士会

・秋の現場見学会を島根県中西部の江津市と浜田市にて11月11日に開催しました。会場は県道の道路トンネル現場でのロックボルトや空洞充填といった補強工事現場と、国道の高架橋の耐震補強・補修工事現場で実施しました。高架橋現場では多様な工種が採用されており、炭素繊維シート巻き立てなどの耐震補強工事や、落橋防止工・制震装置工、亜鉛アルミ溶射による支承補修工事などが実施されていました。参加者は18名で、自身の担当している業務にも関連した多くの質問がなされ、有意義な見学会となりました。

## ○東京コンクリート診断士会(TCD)

- ・2017年11月18日(土曜日)東海コンクリート診断士会と共催で、名古屋地区の現場見学会を開催いたしました。
- ・2017年12月12日(火曜日)役員会を開催し、終了後忘年会を開催しました。
- ・2017年12月20日(水曜日)来年度のコンクリート診断士受験対策講座の企画会議を開催しました。
- ・2018年2月21日(水曜日)第2回技術研修会を開催いたします。
- ・2018年5月19日(土曜日)、20日(日曜日)コンクリート診断士受験対策講座(仮称)を開催いたします。

## ○石川県コンクリート診断士会

- ・平成29年12月12日(金沢会場), 15日(能登会場):石川県土木部監理課主催「平成29年度コンクリート構造物の維持管理研修」へ講師派遣
- ・平成30年2月(未定):診断事例発表会
- ・平成30年4月27日:JCI中部支部主催「維持管理におけるこれからの人材育成を考えるフォーラム(仮称)」北陸sipと共同共催として金沢にて予定

## ○大分県コンクリート診断士会

- ・11月2日(木)に第23回技術講演会を開催, 約200名の方に受講いただきました。

# JCD・地区診断士会からのニュース

## ○静岡コンクリート診断士会

- ・平成29年6月23日(金)に通常総会と技術研修会を開催しました。
- ・平成29年11月1日(水)に研修会を開催しました。
- ・平成29年12月8日(金)に見学会を下記の場所で実施しました。
  - ① (一社)日本建設機械協会 施工技術総合研究所
  - ② 中日本高速道路(株)沼津工事事務所 新東名高速道路  
静岡・神奈川県堺～御殿場JCT間  
・仁杉高架橋PC上部工工事   ・中島高架橋工事
- ・平成30年6月29日(金)に通常総会と技術研修会を開催する予定です。

## ○高知県コンクリート診断士会

### 【報告】

- ・9月29日(金) 第8回コンクリート技術研修会 196名参加  
場所/共催:「サンピアセリーズ」/(公社)高知県土木施工管理技士会・高知県コンクリート診断士会  
講演Ⅰ「公共工事の生産性向上について(i-construction)」  
門田 隆志 国土交通省四国地方整備局  
講演Ⅱ「経年コンクリートの補修・補強について」  
濱渦 康博 栄宝生建設(株) 診断士会会員  
講演Ⅲ「コンクリート構造物の品質確保の意義一ひび割れ抑制, 長寿命の達成, 人財育成」  
細田 暁 横浜国立大学大学院准教授
  - ・11月2日(木) 平成29年度土木技術専門研修 講師派遣  
場所/主催:(公社)高知県建設技術公社  
1.「道路構造物の補修・補強設計について」  
前田 秀夫 株式会社第一コンサルタンツ(正会員)  
2.「コンクリート構造物の補修・補強について」  
濱渦 康博 栄宝生建設株式(正会員)
  - ・11月17日(金)第1回保有技術および第5回業務体験報告会  
場所/主催:愛知県産業労働センター/(一社)日本コンクリート診断士会  
「ローモントイトの乾湿繰り返し作用による粉化現象と剥落対策事例」  
兵頭 学 株式会社第一コンサルタンツ 原田 隆敏(会長)
  - ・11月22日(水)コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会成果報告(高松)および四国地区における品質確保に関するシンポジウム  
場所:高松国際ホテル  
主催:土木学会  
原田会長・横田副会長含め数名が参加。
  - ・11月24日(金)岡山コンクリート診断士会訪問  
内容:日本コンクリート診断士会への入会案内  
原田会長が訪問し澤会長, 浜田副会長と面談。鳥取県コンクリート診断士会の奥村会長, 島根県コンクリート診断士会の井田会長が同行しました。
  - ・定例役員会 9/25(月).10/30(月).11/29(水)開催
- ### 【予定】
- ・新年会:2018年1月20日(土) ザ・クラウンパレス新阪急高知
  - ・設立10周年記念第9回コンクリート技術研修会【9/29(金)高知工科大】検討会
  - ・定例役員会:コンクリート診断士受験対策講座・通常総会等
  - ・山口県コンクリート診断士会訪問(予定):2018年1月26日【金】

## ○京滋コンクリート診断士会

- ・10月:第9回通常総会を開催しました。  
:第21回研修会を開催しました。  
テーマ「インフラ維持管理の技術開発の最前線」  
講師 京都大学大学院 河野教授
- ・1月:新春賀詞交換会を開催予定です。

# JCD・地区診断士会からのニュース

## ○新潟県コンクリート診断士会

### 活動実績

- ・平成29年9月6日 第1回現地研修会(会員30名)

国道8号新潟バイパス鉄筋コンクリート擁壁を対象に、施設管理者立会いの下で、はつり調査を実施しASR損傷状況の視察と意見交換を開催

- ・平成29年11月16日 第2回現地研修会(会員18名)

中越地区における北陸自動車道の橋梁3橋を対象に、施設管理者立会いの下で、はつり調査を実施しASR損傷状況の視察と意見交換を開催

- ・平成29年11月29～30日

一般財団法人新潟県建設技術センター主催の技術セミナー(新潟発コンクリート構造物のひび割れ抑制と品質確保に向けて)への講師派遣

### 活動予定

平成30年2月

現地研修会の結果報告ならびにコンクリート診断に関わる技術セミナーを開催予定

### その他

平成30年7月に当会の設立10周年記念式典を開催予定で、記念誌の作成他の準備を進めています。

## ○北海道コンクリート診断士会

【活動実績】・9月11日(月曜日)「平成29年度 第1回コンクリート診断技術研修会」を開催いたしました。

講演-1:「コンクリート中の気泡の役割と制御」

講師;室蘭工業大学大学院工学研究科 教授 濱 幸雄 氏

「RC建物の主筋のカットオフと継手」

講師;北海道大学大学院工学研究院 准教授 西村 康志郎 氏

・9月11日(月曜日)「第三者社会基盤技術評価支援機構・北海道 12周年記念セミナー」(主催:HITEST)を後援

・9月25日(月曜日)～計4回「北大キャンパスで学ぶ市民講座」(主催:HITEST)を後援。

【活動予定】・12月中旬 当会会員対象「平成29年度 アンケート調査」の実施を予定しています。

・4月下旬「平成30年度 第10回通常総会」の開催を予定しています。

## ○東海コンクリート診断士会

・5月25日 平成29年度 東海コンクリート診断士会定時総会 開催しました。

特別講演「トンネル変状の発生原因と着目点」

講師 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)チーフエンジニア 中田雅博 様

・6月12日 コンクリート診断士受験対策講座 開催しました。(参加者38名)

・8月24日 当会主催による業務体験発表会を開催しました。(参加者40名)

特別講演「シールドトンネル歴史、設計、施工方法(施工時荷重)、維持管理、最近のシールド動向等、RCセグメント、コンクリートの紹介」

講師 佐藤工業株式会社 土木事業本部 技術部 部長 早川淳一 様

・11月17日 JCD主催で業務体験発表会・保有技術発表会を開催しました。(参加者82名)

・11月18日 東京コンクリート診断士会と共催で現場見学会(鈴鹿高架橋・長良川河口堰・船頭平閘門)を開催しました。(参加者28名)

こちらのURLから記事をご覧ください ⇒ <http://tokaicd.org/info/>

・来年5月30日 平成30年度 東海コンクリート診断士会定時総会 開催予定。

## ○広島県コンクリート診断士会

平成29年11月8日に第31回定例サロン開催

『ひび割れ注入材の使い分けについて』と題し、有機系、無機系それぞれの注入材製造メーカーが講師を担当。材料特性、工法特性のほか、適用事例などを紹介した。平成30年2月に第32回定例サロンを開催予定

## ○福岡県コンクリート主任技士・診断士会(FCD)

### 活動実績

平成29年10月7日(土) 平成29年度 コンクリート技士・主任技士受験対策講習会平成29年12月8日(金)

第1回コンクリート技術者のための技術講演会

活動予定 「コンクリート構造物の温度応力解析」

## ○宮城県コンクリート診断士会

今年度の宮城県コンクリート診断士会の活動は、役員会を2回、技術講習会および意見交換会を2回(合計で講習会参加者94名、意見交換会参加者は63名)、後援講習会を1回(参加者30名)開催致しました。今後の予定として2018年4月には通常総会および技術講習会を開催予定です。

# JCD・地区診断士会からのニュース

## “H形錐コンクリート電柱”をご存じないですか

我々が日常的に見かける電柱は、円柱状のコンクリート製ですが、松江市内には主要道路の三叉路の角にありながら、他では見かけない形状のコンクリート電柱が今日も供用されています。



(Googleマップより 座標 35.4617128,133.0603456)



この電柱は、H形錐状の本柱と矩形の控え柱・中段梁から構成されたプレキャストコンクリート製であり高さは約11mです。H形錐の基部の大きさは地表部で約0.4m×0.3m、控え柱は0.19m×0.19mです。地盤面から1mのところの名盤が打ち込まれており、製造は昭和30年代と確認できます。

類似施設の存在についても調査を進めており、現在までに島根県内に1件と広島県内に2件を確認しました(合計で4件)。函館市の現場打ちコンクリート電柱は有名ですが、H形錐状の電柱についての報告例は無いように思います。現在もこの施設の製造経緯や方法などについて調査中であり、他県での類似施設の存在についても調べたいと考えております。

つきましては、この様な形状のコンクリート電柱に係る情報(感想でも結構です)をお持ちの方は、下記まで提供をお願いいたします。

島根県コンクリート診断士会

松浦 寛司 ([matsuura-hi@ej-hds.co.jp](mailto:matsuura-hi@ej-hds.co.jp))

TEL0852-21-3375(株)エイト日本技術開発)

## 投稿記事募集

維持管理に関する、新技術等の情報がありましたら、会員の皆様を紹介して行きたいと考えておりますので、情報提供をお願いします。

新技術に限らなくても、会社PRでも構いませんので、どんどん記事の投稿をお願い致します。

詳しくは、JCD幹事会(メールかわら版担当)まで…